

I 第51週の発生動向 (2013/12/16~2013/12/22)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の14人から50人に増加し、迅速診断キットによる型別はA型36人、B型12人でした。(詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください)
2. 水痘については、患者報告数が急増し、東地方+青森市、上十三保健所管内に**注意報**が発令されました。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の202人から253人に増加しています。

II 第51週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	21	1.6	2	0.1	19	1.4			7	0.8	1	0.2	50	0.8	36			21	1.8
(74) RSウイルス感染症	7	0.9	18	2.0	11	1.2	5	1.0	6	1.0	2	0.5	49	1.2	-14			7	0.9
(75) 咽頭結膜熱	19	2.4	2	0.2	4	0.4	1	0.2	1	0.2			27	0.7	6			19	2.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.9	12	1.3	14	1.6	1	0.2	15	2.5	9	2.3	58	1.4	18			7	0.9
(77) 感染性胃腸炎	59	7.4	36	4.0	19	2.1	17	3.4	62	10.3	60	15.0	253	6.2	51			59	7.4
(78) 水痘	37	4.6	17	1.9	35	3.9	3	0.6	39	6.5	12	3.0	143	3.5	61			37	4.6
(79) 手足口病							1	0.2					1	0.0	-1				
(80) 伝染性紅斑							4	0.8					4	0.1	-2				
(81) 突発性発疹	9	1.1	4	0.4	2	0.2	2	0.4	3	0.5	1	0.3	21	0.5	10			9	1.1
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ														0					
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	2	0.2	1	0.1	1	0.2			5	1.3	10	0.2	-3			1	0.1
(86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0			6	3.0							8	0.7	1			2	1.0
(92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	3	3.0					4	4.0	8	1.3	5				
(96) 無菌性髄膜炎														0					
(101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)														0					

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患)：青森市2人、弘前2人、八戸1人、東地方1人(2013年計:301人)

IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。

感染症の窓

先天性風しん症候群 (Congenital Rubella Syndrome)

2013年の風しんの大流行は、累積患者報告数から見ると、第6週から第27週まで急激な増加を示し、第30週以降は週別患者報告数が減少傾向となりました。年間の累積患者報告数は、2009年以降最多でした(図)。

風しんの免疫がない、あるいは抗体価の低い妊娠初期の女性が、風しんウイルスに感染すると、胎児に先天性心疾患、難聴、白内障等を呈す先天性風しん症候群(CRS)を引き起こす可能性があります。風しんの流行年はCRSの発生も多くなり、2013年は第49週までに、28人が報告され、2009年以降最多でした(表)。

風しんは例年春以降に患者報告数が増加します。CRSの予防のため、妊娠可能年齢の女性は、積極的にワクチンで免疫を獲得しておくことが重要です。また妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、妊婦の夫、子ども、その他の同居家族等は、風しんを発症しないよう予防することが大切です。定期予防接種対象者である1歳児及び、小学校入学前1年間の幼児は、多くの自治体で、無料で予防接種が受けられます。妊娠を希望する女性に対する予防接種の費用を補助する自治体もあります。(参考 IDWR「感染症の話」)

厚労省ではCRSの情報を公開しています。

「先天性風疹症候群に関するQ&A(2013年9月)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/crsqa.html>

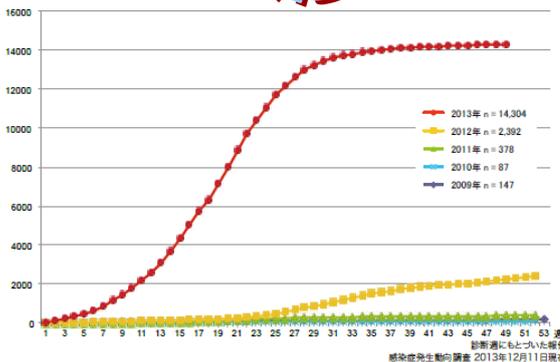


図 全国の風しん患者累積報告数 (2009~2013年第49週)

表 全国の先天性風しん症候群の患者報告数 (人)

年	報告数
2009	0
2010	0
2011	1
2012	5
2013	28

V 県内インフルエンザ情報

第51週の患者報告数は、50人で、迅速診断キットによる型別はA型36人、B型12人、不明2人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	49	50	51
保健所名			
東地方			
弘前	1	1	2
八戸	2	1	19
五所川原			
上十三	1		7
むつ			1
青森市		12	21
合計	4	14	50

A型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51
保健所名			
東地方			
弘前	1	1	
八戸			9
五所川原			
上十三			6
むつ			1
青森市		12	20
合計	1	13	36

B型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51
保健所名			
東地方			
弘前			2
八戸	2	1	8
五所川原			
上十三	1		1
むつ			
青森市			1
合計	3	1	12

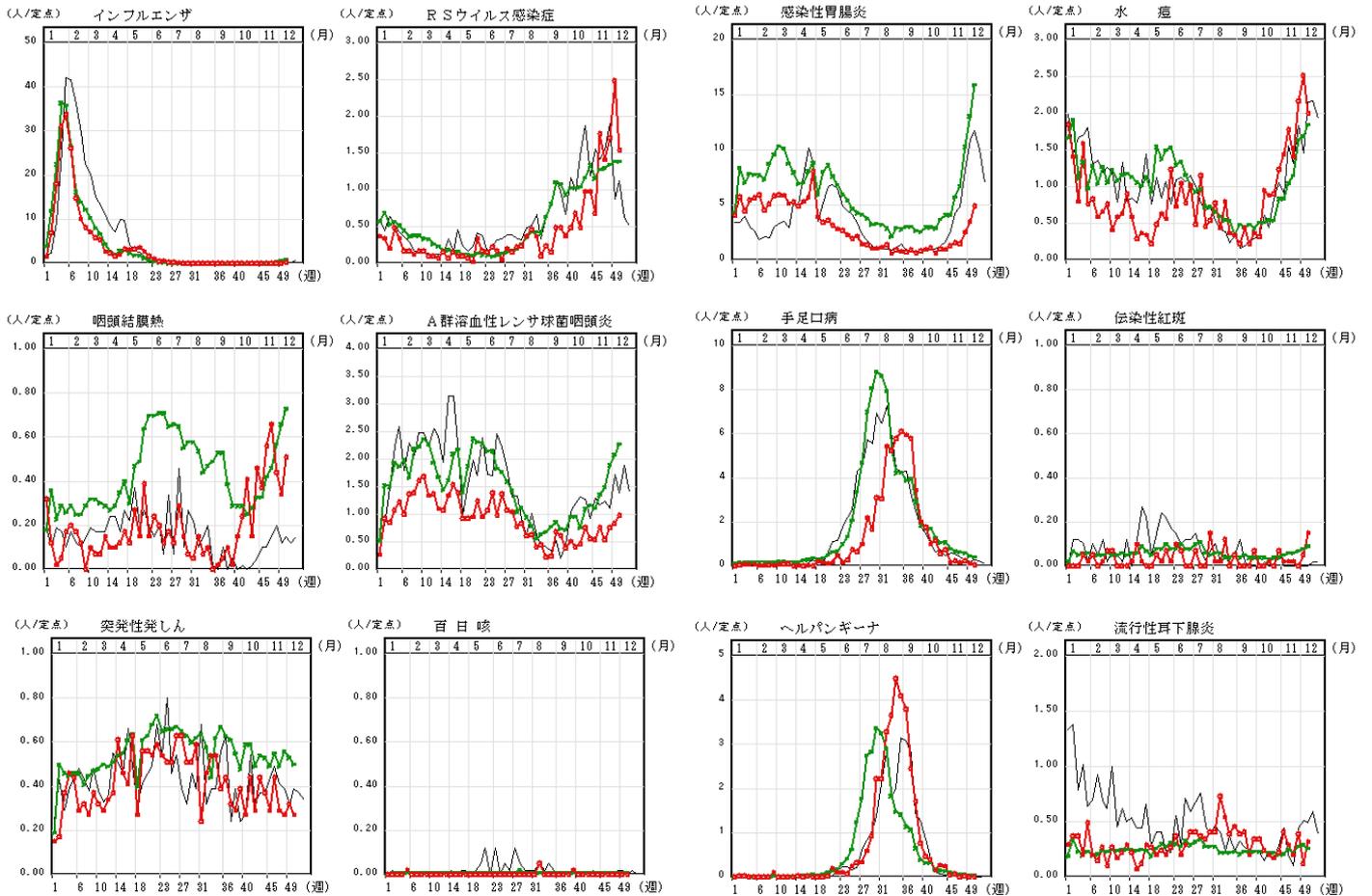
年齢区分別

週	49	50	51
～5ヶ月			
～11ヶ月			1
1歳			3
2歳			4
3歳		1	4
4歳		2	5
5歳		6	6
6歳		1	3
7歳			1
8歳			2
9歳		1	2
10～14歳			6
15～19歳	3	1	1
20～29歳	1		3
30～39歳			3
40～49歳			4
50～59歳		2	1
60～69歳			1
70～79歳			
80歳以上			

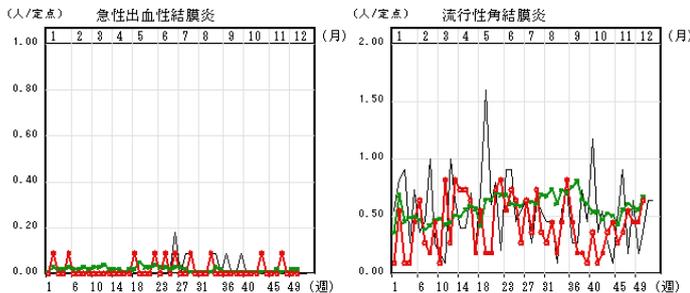
IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2013年第50週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第50週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第50週

